

社会福祉施設の労働災害防止研修会を開催しました

令和元年8月21日



労働災害事例を説明する瀧川署長



腰痛予防体操の実演を行う専門家
(出席者全員で体操を行っている)

水戸労働基準監督署は、介護福祉施設などの社会福祉施設における労働災害を防止するため、研修会を開催しました。

研修会では、中央労働災害防止協会関東安全衛生サービスセンターの「中小規模事業場安全衛生サポート事業」を活用し、専門家を招いて「腰痛防止対策と転倒災害について」研修を行いました。研修会には、社会福祉施設の施設長や事務長などの管理者が出席しました。

昨年の水戸労働基準監督署管内における社会福祉施設の休業4日以上の死傷者数は、77人で、対前年比39人(+103%)の大幅な増加となりました。災害の内容をみると、転倒災害が29人、腰痛が27人となっており、この2つの災害が全体の73%を占めています。

水戸労働基準監督署 安全衛生課

電話 029-277-7916